

淀川水系流域委員会

平成25年度進捗点検結果説明資料 【人と川とのつながり(猪名川)】

平成27年4月22日

近畿地方整備局

平成26年度 第3回淀川水系流域委員会 説明資料【人川(猪名川)】

点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の策定状況	住民参加推進プログラムの検討内容	有り	P.11
	住民・住民団体(NPO等)との連携状況	河川愛護活動等の実施内容・回数	有り	P.13
	河川レンジャーの進捗状況	河川レンジャー選任システム・在籍人数	有り	P.16
		河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数	有り	P.20
	子供達の関わりを促進する取り組みの実施状況	環境教育等の実施内容・回数	有り	P.25
	情報公開の状況	情報公開の内容・件数	有り 【第2回で説明済み】	P.30
	情報発信方法の検証	HP、携帯サイトの内容・利用件数	有り 【第2回で説明済み】	P.31
		HP、携帯サイトにおける新着情報の内容・アップ数	有り 【第2回で説明済み】	P.32
	情報公開発信関する職員の意識向上	研修等の内容・開催数	有り 【第2回で説明済み】	P.33
	意見聴取手法の開発に向けた取り組み	住民、住民団体との交流内容・回数	有り	P.34
	憩い、安らげる河川を目指した河川事業の実施状況	小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備状況	小径(散策路)の整備内容・延長	無し (利用と重複)
三川合流部の整備状況		バリアフリー化の内容・実施箇所数	無し (利用と重複)	P.40
		河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	無し (利用と重複)	P.40
良好な水辺まちづくりに資する河川事業の実施状況		三川合流部交流拠点の整備内容	該当無し (利用と重複)	P.42
洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況	まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数	有り (治水と重複)	P.47
		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・団体数	有り (治水と重複)	P.50
	関係機関との連携状況	協議会等の設置状況	有り (治水と重複)	P.54
上下流連携の構築	水源地域ビジョンの進捗状況	水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数	有り (利用と重複)	P.58
	上下流交流を促進するための活動状況	交流(水源地ネットワーク)実施内容・回数	無し	P.63

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】「住民参加推進プログラム」の策定状況

「指標」住民参加推進プログラムの検討内容

【住民参加推進プログラムに基づく活動事例】

【猪名川河川事務所】

河川敷公園などを利用する少年野球チームを対象に、猪名川の外来植物について実物を用いた説明や、外来植物対策の必要性などについての説明を行うとともに、外来植物の除去活動(伐根作業)の指導などが行われ、猪名川の外来種対策の必要性などを啓発することができた。



河川レンジャーによる外来植物の説明



外来植物の除去活動の実践

猪名川河川レンジャーの活動報告 <http://iranger.web.fc2.com/report/vol37.html>

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、淀川河川事務所管内では、平成21年度に策定した淀川住民参加推進プログラムに基づき、河川レンジャーによる意見交換会を含むワークショップの開催や現地見学会を実施した。</p> <p>琵琶湖河川事務所管内では、住民団体主催イベントで事務所事業(洗堰操作)の情報発信を実施した。</p> <p>木津川上流河川事務所管内では、河川レンジャー活動を通じて、住民参加による水生生物調査,水防技術講習会及び河川の現況を知って貰う活動等を実施した。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、河川レンジャー活動を通じて、水質一斉調査や猪名川水環境パネル展、意見交換会、外来植物の駆除活動を実施した。</p>	<p>各事務所管内で住民参加推進プログラムに基づき、河川レンジャー活動を起点とし、人と川とをつなげる活動を推進している。</p> <p>引き続き、住民と行政の相互理解を深め、効率的な河川管理を進める対策として推進していく。</p>

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】住民・住民団体(NPO等)との連携状況

「指標」河川愛護活動等の実施内容・回数

【河川愛護活動等の実施事例】

【猪名川河川事務所】

猪名川河川事務所管内では、平成25年度に猪名川流域の24箇所で一斉に清掃活動を行う「第11回猪名川クリーン作戦」を開催した。猪名川クリーン作戦は、猪名川流域で活動する団体が実行委員として連携して実施しており、当初実施時の260人から平成25年度の第11回実施時には、猪名川流域の内外から1,100人を超える参加者が集まり、水辺のゴミを拾集した。

猪名川クリーン作戦を通じて、住民・住民団体と河川管理に関する現状などの情報共有を行うことで地域活動団体との連携に役立てることができ、行政主導から住民・企業主導の活動に移行した。



北田原東口バス停



清和台東清和苑下

回数	実施年月	実施箇所数	参加団体数	参加者数
第1回	H16.7	5	—	260
第2回	H17.2	2	—	323
第3回	H18.2	3	4	400
第4回	H19.2	10	11	608
第5回	H20.2	15	28	571
第6回	H21.2	19	41	998
第7回	H22.2	24	48	1012
第8回	H23.2	24	49	1284
第9回	H24.2	25	53	1105
第10回	H25.2	26	52	1096
第11回	H26.2	24	51	1147

猪名川クリーン作戦の活動報告 <http://iranger.web.fc2.com/report/vol38.html>

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】住民・住民団体(NPO等)との連携状況

「指標」河川愛護活動等の実施内容・回数

【河川愛護活動等の実施事例】

【猪名川河川事務所】

第11回猪名川クリーン作戦実施場所



日常からの川と人のつながりの構築

【観点】住民・住民団体(NPO等)との連携状況

「指標」河川愛護活動等の実施内容・回数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、流域全体で140回の河川愛護活動等を実施した。</p> <div data-bbox="159 421 600 770" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>河川愛護活動等の実施回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>70</td></tr> <tr><td>H20</td><td>90</td></tr> <tr><td>H21</td><td>105</td></tr> <tr><td>H22</td><td>110</td></tr> <tr><td>H23</td><td>140</td></tr> <tr><td>H24</td><td>130</td></tr> <tr><td>H25</td><td>140</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>淀川河川事務所管内では、淀川わんどクリーン大作戦、嵐山地区水草除去、イタセンパラ保全活動、桂川クリーン大作戦、淀川わいわいガヤガヤ祭、LOVE遊淀川上流クリーン作戦、河原の野鳥観察等を行った。</p> <p>琵琶湖河川事務所管内では、淀川ダム統合管理事務所と連携して瀬田川クリーン作戦を行った。</p> <p>木津川上流河川事務所管内では、NPO、三重県及び名張市等と名張クリーン大作戦を実施し、全体で4,712人によるゴミ収集を実施した。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、流域の24箇所「猪名川クリーン作戦」、尼崎市等が主催の猪名川・藻川を清掃対象としている「園田地区わがまちクリーン運動」に猪名川河川事務所として職員が参加した。</p> <p>淀川ダム統合管理事務所管内では、天ヶ瀬ダムを紹介することを目的として、宇治観光ボランティアクラブとの協働で、「天ヶ瀬ダム・天ヶ瀬発電所見学ハイク」(6月7日)を実施した。また、11月に宇治市歴史資料館において、パネル展示展「天ヶ瀬ダムってなに？」を実施した。</p> <p>日吉ダムでは、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の統一清掃(12月)を実施したほか、桂川クリーン大作戦(2月)を実施した。</p>	年度	実施回数(回)	H19	70	H20	90	H21	105	H22	110	H23	140	H24	130	H25	140	<p>住民・住民団体(NPO等)との連携としては、河川愛護活動等の実施回数が増加傾向にあるため、河川愛護活動等を通じて情報共有が積極的に行われている。</p> <p>今後、さらに連携を強化する取り組みを行っていくとともに、河川に係わる人材育成の支援や環境教育を推進する。</p>
年度	実施回数(回)																
H19	70																
H20	90																
H21	105																
H22	110																
H23	140																
H24	130																
H25	140																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャー選任システム・在籍人数

【河川レンジャー選任について】

【猪名川河川事務所】

(河川レンジャー)

猪名川河川レンジャーは、流域で活動している多くの団体と行政とのつながりをつくり、相互の関係を調整して信頼関係を構築する役割を担っており、流域の関係自治体等から推薦された方を対象として、河川レンジャーに任命(委嘱)を行っている。任命にあたっては、猪名川河川事務所が開催する講習会を受講していただいたうえで、面接を行い、河川レンジャーとしての適正を確認している。

(河川レンジャー協力員)

猪名川河川事務所では、猪名川クリーン作戦、環境学習支援等のさまざまな形で河川レンジャーが行う活動に協力・支援する河川レンジャー協力員を募集している。河川レンジャー協力員は、登録制としており、年間を通じて公募し、猪名川河川事務所が応募者の面接を行い登録の可否を判断している。

(運営検討委員会)

学識経験者、流域自治体、河川管理者等で構成され、河川レンジャー、レンジャー協力員及び事務局からの報告及び提案を受けた事項について討議を行い、河川レンジャー等のあり方、役割、今後の制度について、河川レンジャー等のより良い活動に向けて意見交換を行っている。

平成25年度は、1回を開催(H26.3)し、活動内容の確認および助言を行うとともに、猪名川河川レンジャーの現状と課題および今後のあり方について討議を行った。

また、流域自治体委員に対し、河川レンジャー候補者の推薦を要請した。(平成25年度は、河川レンジャー4名および河川レンジャー協力員3名の体制で実施)



河川レンジャー協力員の活動イメージ

- 河川レンジャーは、幅広い時間的な柔軟性があり、自分のスキルを活かした活動を行っています。
- 河川レンジャーがコーディネートする、子ども達の水遊びや猪名川健康会などの企画や運営に参加していただきます。
- 河川の環境や水辺の利用、水害など、猪名川についての資料配布なども、お願いしたいと考えています。
- 関心があれば、月に1回程度開催される河川レンジャーの会合に参加し、意見交換をお願いします。

※活動にかかる経費、交通費については、事務局が負担します。また、お申し込みの際は、ホームページがご覧いただけます。
<http://iranger.web.fc2.com/>
 猪名川河川レンジャー 検索

応募及び審査の方法

- 応募方法
右記応募口までお問い合わせください。応募用紙をお送りください。
- 審査方法
期間により審査します。
- 申込窓口
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 管理課
住 所 〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-38
電 話 072-751-1111(代表) FAX 072-751-1723

私たち 『猪名川河川レンジャー』と一緒に活動しませんか?

猪名川流域では、住民が参加する川づくりを目指して、「河川レンジャー」が活動しています。住民に川への関心を持ってもらい、川づくりに向けて住民と行政が協力できるような人と川、住民と行政きつなぐ役割を担っています。今後、猪名川流域全体に、そのような活動が広がっていくため、河川レンジャーと協力活動する、河川レンジャー協力員を募集します。幅広い年齢・性別や経験、川辺歴史・自然観察・水辺活動などに興味がある人や、活動的な人の方を募集しています。河川レンジャー協力員になれば、あなた自身のスキルアップや、たくさんの人たちとのネットワークづくりにもつながります。

● 猪名川流域での水辺と自然豊かな森林や川岸の自然環境の育ち、河川レンジャー協力員の活動に熱心な若い人
 ● 河川レンジャー協力員の活動中、季節の活動、教育的活動、市民活動を行いたい
 ● 以下のいずれかに該当すること
 ● 猪名川流域在住の住民
 ● 猪名川流域関係の学校に在籍する学生
 ● 猪名川流域関係の活動団体、企業等に所属している方

● 募集人数 5名程度

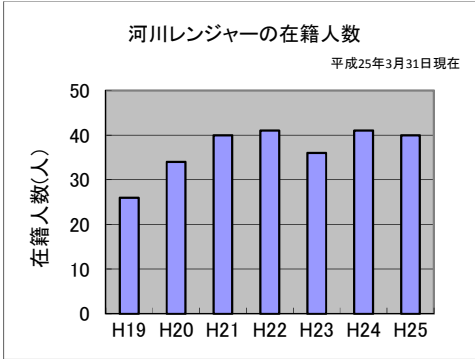
猪名川河川レンジャーホームページ
<http://iranger.web.fc2.com/>

河川レンジャー協力員の募集チラシ

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャー選任システム・在籍人数

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>河川レンジャーの充実を示す指標として、平成19年度～平成25年度における河川レンジャーの在籍人数を以下に示す。平成25年度の河川レンジャーの在籍人数は、流域全体で40人となっている。</p>  <p>以下具体的な運営状況を示す。</p> <p>【猪名川河川レンジャー運営検討委員会】 (猪名川河川事務所)</p> <p>学識経験者や自治体、河川管理者等で構成され、河川レンジャー、レンジャー協力員及び事務局からの報告及び提案を受けた事項について討議を行い、河川レンジャー及びレンジャー協力員のより良い活動に向けて、支援のための方策、河川レンジャー等のあり方、役割、今後の制度のあり方について協議や意見交換を行っている。</p> <p>猪名川の河川レンジャー活動は流域団体との関わりが強く、流域団体の人しか務まらない特異性を踏まえ、一般公募ではなく、多くの流域団体が参加する流域意見交換会等(主催:河川レンジャー)のメンバーから募集を行い、4名の方が集まっている。また、平成23年度以降は、河川レンジャーの継続・発展に向け、河川レンジャーを様々な形でサポートする「レンジャー協力員」という形態で募集を行い、現在3名の方が集まっている。</p> <p>平成25年度の運営検討委員会はH26.3に1回開催し、今後の活動内容等について意見交換が行われた。</p>	<p>河川レンジャー在籍人数は、再任・退任等があった平成24年度の41名に対し平成25年度は40人となっている。必要人数としては、満足している事務所もあるが、河川レンジャーの規模については、対応分野や活動範囲における適正人数を踏まえ、今後検討が必要である。河川レンジャーの選任については代表者会議等第三者機関による選任を行い、公平な審査のもと実施しているため、選任システムについては定着しつつある。</p>

日常からの川と人のつながりの構築

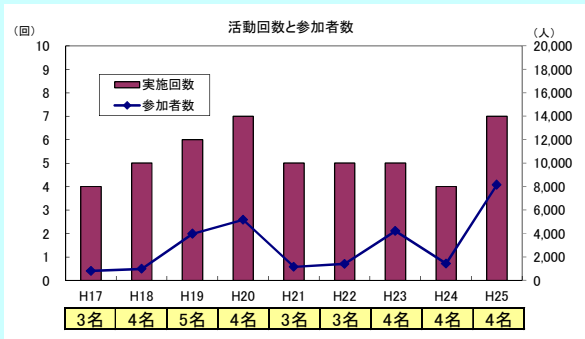
【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数

【河川レンジャーの活動事例】

【猪名川河川事務所】

猪名川河川事務所管内では、河川レンジャーが沿川全域で活動を行っており、平成17年度から平成25年度にかけてのべ約2.7万人の人々に猪名川の魅力等を伝えてきた。



猪名川河川事務所管内の河川レンジャー人数

猪名川河川レンジャーホームページ

<http://iranger.web.fc2.com/>

川と人(住民)、人(住民)と人(行政)を結ぶコーディネーターとして河川レンジャーに外来種対策の啓発や清掃活動時の連絡調整を行ってもらい、活動団体の立ち上げ支援、数珠つなぎインタビュー等の交流を図っている。



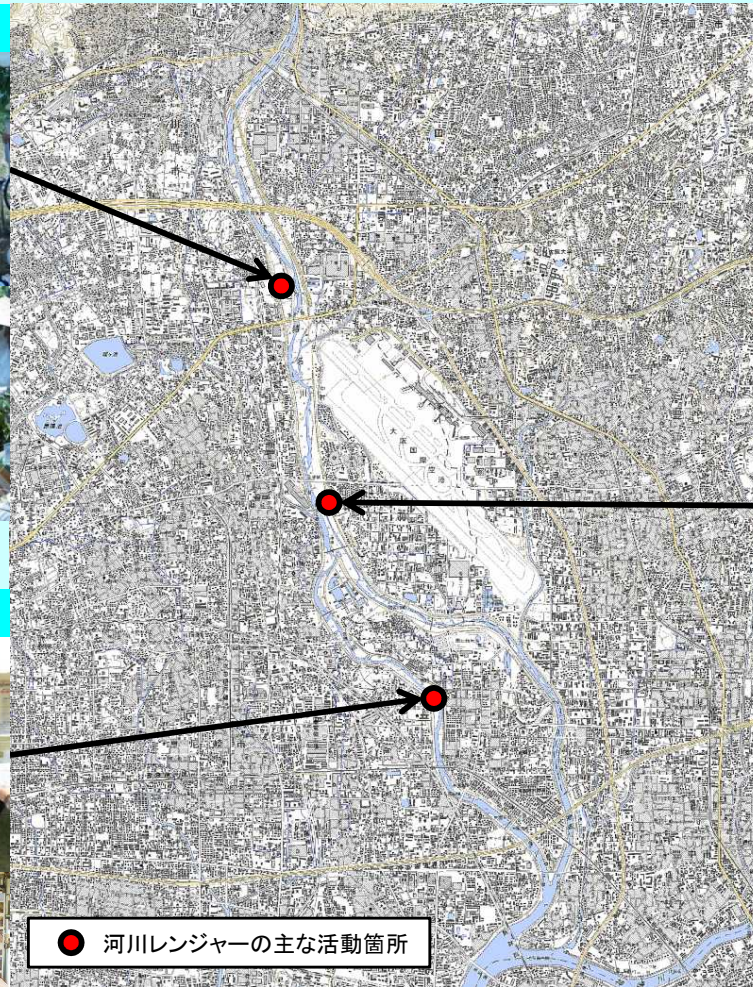
出前講座(外来種対策他)

平成25年6月16日実施
東久代公園(猪名川河川敷公園)



第10回水辺まつり

平成25年9月22日実施
藻川 中園橋周辺



● 河川レンジャーの主な活動箇所



水質一斉調査



平成25年10月21日実施
伊丹市立神津小学校及び桑津橋周辺

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】河川レンジャーの進捗状況

「指標」河川レンジャーと住民・住民団体との交流内容・回数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、河川レンジャーと住民・住民団体との交流活動を流域全体で505回実施した。</p> <div data-bbox="577 424 1028 762" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>河川レンジャーと住民等との交流回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交流回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>220</td></tr> <tr><td>H20</td><td>500</td></tr> <tr><td>H21</td><td>510</td></tr> <tr><td>H22</td><td>440</td></tr> <tr><td>H23</td><td>340</td></tr> <tr><td>H24</td><td>410</td></tr> <tr><td>H25</td><td>505</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、猪名川流域全24箇所において、同日に一斉に清掃活動「猪名川クリーン作戦」を実施した。当日は約1,100人の参加者があった。収集したゴミは、後日、自治体や河川管理者が回収した。</p> <p>河川レンジャーの役割としては、清掃活動への参加と共に、参加団体との連絡調整や自治体・河川管理者とのゴミ収集に関する調整、河川管理者への道具提供依頼といった行政と住民間のコーディネートを行った。</p>	年度	交流回数(回)	H19	220	H20	500	H21	510	H22	440	H23	340	H24	410	H25	505	<p>河川レンジャーは、防災意識啓発、自然観察会、河川関連施設の見学会等、多種多様な活動を行っており、河川レンジャーと住民・住民団体との交流回数は平成24年度は404回であったが、平成25年度は505回であった。河川レンジャーの在籍人数に比例して活動回数も増加しているため、『川と人(住民)、人(住民)と人(行政)を結ぶコーディネーター(橋渡し役)』としての役割を担っていると考えられる。</p> <p>今後、さらに交流の機会を増やす取り組みを行っていくため、河川レンジャーの在籍人数を検討していくとともに、地域住民と河川管理者とが連携しながら河川整備を進めていく上で、河川レンジャーが住民と河川管理者の橋渡し役となるよう活動を支援する。</p>
年度	交流回数(回)																
H19	220																
H20	500																
H21	510																
H22	440																
H23	340																
H24	410																
H25	505																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】子ども達の関わりを促進する取り組みの実施状況

「指標」環境教育等の実施内容・回数

【子供たちの学習事例】

【猪名川河川事務所】

・水生生物調査(3地点、計264人)

生き物調査などで子供たちに猪名川に直接触れてもらい、実際に川に入ってみると想像と異なり、きれいで様々な生き物が見つかった等の感想を頂き、猪名川の水環境に関心を持ってもらった。

・水質一斉調査(27地点、16団体、計92人)

公募による活動団体に参加していただき、パックテストや人の感覚による調査を複数の地点において、参加者自らが猪名川に直接触れ、水環境調査を行った。調査前はきれいではないイメージが、調査後には“きれい”に変化した。

・出前講座(3小学校)

猪名川流域の小学校において、総合学習の一環として実施し、普段近づくことのなかった川に直接触れ、身近で水遊びのできる環境であることを実感してもらうことで、猪名川について理解を深めてもらった。



水生生物調査



水質一斉調査



出前講座

【一庫ダム】

一庫ダムでは、小学校6校から延べ445人の社会科見学を受け入れた。一庫ダムの治水・利水・環境の概要を説明し、堤体内を見学してもらうことで、ダムの役割等について理解を深めてもらった。



小学生の社会科見学(一庫ダム)

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】子ども達の関わりを促進する取り組みの実施状況

「指標」環境教育等の実施内容・回数

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度は、流域全体で84回の環境教育等を実施した。</p> <div data-bbox="488 469 1039 879" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>環境教育等の実施回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>80</td></tr> <tr><td>H20</td><td>95</td></tr> <tr><td>H21</td><td>115</td></tr> <tr><td>H22</td><td>105</td></tr> <tr><td>H23</td><td>90</td></tr> <tr><td>H24</td><td>90</td></tr> <tr><td>H25</td><td>84</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>平成25年度の代表事例を以下に示す。 猪名川河川事務所管内では、流域内の小学生を対象とした水生生物調査(7月)及び水質調査(10月)を実施し、猪名川流域の自然環境、水質について説明を行い、自然環境について啓発活動を実施した。</p> <p>一庫ダムでは、小学校6校から延べ445人の社会科見学を受け入れ、一庫ダムの治水・利水・環境の概要を説明し、堤体内を見学してもらうことで、ダムの役割等について理解を深めてもらう取組を実施した。</p>	年度	実施回数(回)	H19	80	H20	95	H21	115	H22	105	H23	90	H24	90	H25	84	<p>自然観察会や出前講座、レンジャー活動、小学校、中学校の総合学習への協力を継続的に実施し、実施回数は平成24年度に91回、平成25年度も84回となっている。なお、日頃川へ近づく機会が減少している子ども達に対し、川への関心を持ってもらう良いきっかけにしたいという協力要請が多い。</p> <p>今後も継続して子ども達との関わりを持つ取り組みを実施し、次世代を担う子ども達が、川に対する関心を高めることができる工夫を行うことにより、持続的な川と人とのつながりや地域とのつながりの構築につなげていく。</p>
年度	実施回数(回)																
H19	80																
H20	95																
H21	115																
H22	105																
H23	90																
H24	90																
H25	84																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報公開の状況

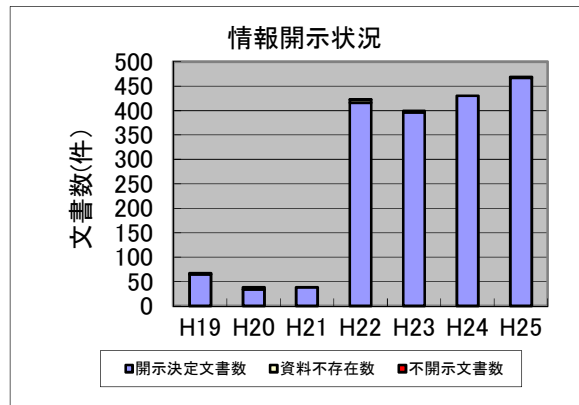
「指標」情報公開の内容・件数

桂川と内容が重複。 第2回委員会で説明済み。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度の淀川水系に関する行政文書の開示請求文書数は469文書あり、その内、資料不存在的の2文書を除く、467文書について開示を行った。



※ 資料不存在的数とは、元々存在しない文書資料について開示請求された文書数

点検結果

平成25年度は開示請求に対し資料不存在的の2文書を除く467文書の開示を行っており、適切に対応している。

今後も、制度に基づき適切に対応していく。

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報発信方法の検証

「指標」HP、携帯サイトの内容・利用件数

桂川と内容が重複。第2回委員会で説明済み。

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度のホームページや携帯サイトへのアクセス数(利用件数)は約891万件あった。</p> <div data-bbox="293 624 857 1058" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>HP、携帯サイトの利用件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>3,500,000</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>3,200,000</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3,800,000</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5,800,000</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>5,500,000</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>6,200,000</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8,900,000</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	利用件数(件)	H19	3,500,000	H20	3,200,000	H21	3,800,000	H22	5,800,000	H23	5,500,000	H24	6,200,000	H25	8,900,000	<p>ホームページや携帯サイトの利用件数については、平成22年度から500万件を越え、平成25年度も891万件のアクセスがあり、多くの方々に利用いただいている。</p>
年度	利用件数(件)																
H19	3,500,000																
H20	3,200,000																
H21	3,800,000																
H22	5,800,000																
H23	5,500,000																
H24	6,200,000																
H25	8,900,000																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報発信方法の検証

「指標」HP、携帯サイトにおける新着情報の内容・アップ数

桂川と内容が重複。 第2回委員会で説明済み。

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度は、ホームページや携帯サイトの新着情報へのアップを327件行った。</p> <div data-bbox="286 624 846 1082" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>新着情報のアップ数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アップ数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>340</td></tr> <tr><td>H20</td><td>360</td></tr> <tr><td>H21</td><td>310</td></tr> <tr><td>H22</td><td>300</td></tr> <tr><td>H23</td><td>330</td></tr> <tr><td>H24</td><td>280</td></tr> <tr><td>H25</td><td>330</td></tr> </tbody> </table> </div>	年度	アップ数(件)	H19	340	H20	360	H21	310	H22	300	H23	330	H24	280	H25	330	<p>新着情報については平成25年度は327件と平成24年度に比べ、増加している。</p> <p>今後も、多くの人々が河川に関心を持ち、川に訪れるよう、河川に関する情報を様々な手段で発信する取り組みを進めていく。</p>
年度	アップ数(件)																
H19	340																
H20	360																
H21	310																
H22	300																
H23	330																
H24	280																
H25	330																

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】情報公開・発信に関する職員の意識向上

「指標」研修等の内容・開催数

桂川と内容が重複。第2回委員会で説明済み。

【広報に関する研修事例】

近畿地方整備局では平素行っている広報について、“伝える”から“伝わる”を実践できることを目的に平成25年9月に講習会を開催した。講習会では災害等における広報担当者を対象として講師に時事通信社の記者を招き、

- ①「広報文の作り方」
- ②「広報に役立つ写真の撮り方」

等について、参加した約70名の職員に対し留意点を具体的に説明していただいた。

「広報文の作り方」留意点

- ・市民目線が重要
- ・記者は素人、分かりやすい広報文を
- ・専門用語は控える
- ・タイトルにこだわる

「広報に役立つ写真の撮り方」留意点

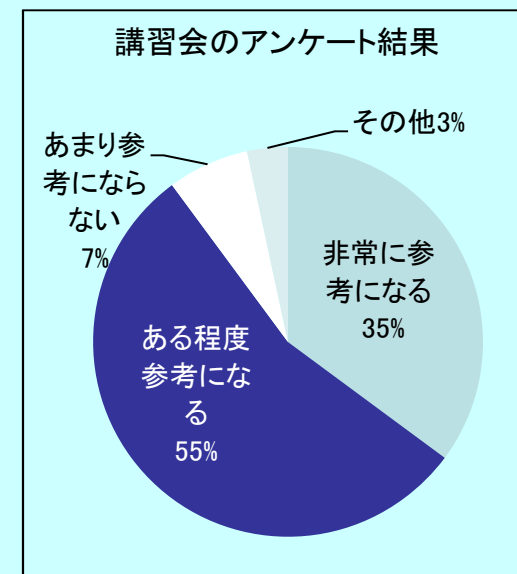
- ・高価なカメラでなくても効果的な撮影は可能
- ・写真は出来るだけトリミングを
- ・被災写真には現地の人の様子も一緒に
- ・構図に二つの要素の対比を配置※



報道写真を事例に解説
※二つの要素の対比の実例



70名の職員が受講



約9割の受講者が参考になったと評価。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、広報担当者を対象として災害時の広報や写真の撮り方についての研修会を開催した。</p>	<p>情報公開や発信に関する意識向上につながるよう、職員に対する研修の中で指導を実施した。</p> <p>今後も職員の意識の向上に取り組んでいく。</p>

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】意見聴取手法の開発に向けた取り組み

「指標」住民、住民団体との交流内容・回数

【事業説明の実施事例】

【猪名川河川事務所】

猪名川漁業協同組合連合会(猪名川漁協4組合)と合同で簡易魚道の視察や河川の現状を把握し、魚類等の生息環境の改善・河川の縦断方向の連続性確保のための意見交換を実施した。

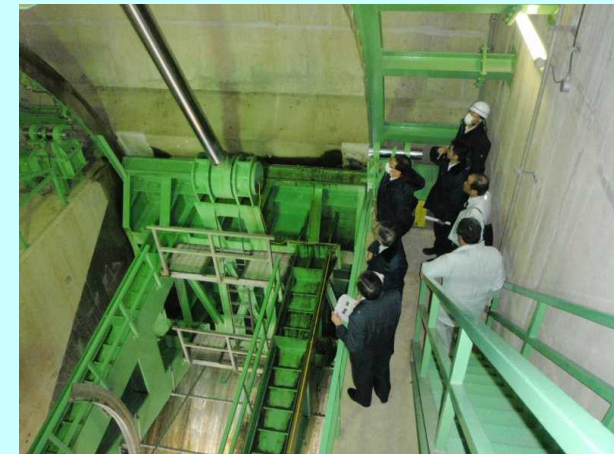
参加者からはアユの産卵床に適した河床の形状等について意見を頂いた。



意見交換会開催状況

【一庫ダム】

一庫ダムでは、猪名川流域水道事業管理者連絡協議会や猪名川水質協議会等の場においてダム管理の概要を説明するとともに、一庫ダム河川環境復元に向けての取り組みに関する意見交換会(5月)を、地元の漁業協同組合、自治会、利水者及び学識者等を招いて実施した。また、府県や市町など17機関の視察を受け入れ、一庫ダムの役割や管理の実態について説明し、ダムへの理解を深めていただいた。

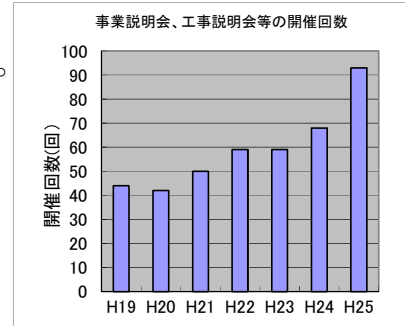


日常からの川と人のつながりの構築

【観点】意見聴取手法の開発に向けた取り組み

「指標」住民、住民団体との交流内容・回数

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、流域全体で93回の事業説明会、工事説明会、ワークショップ等を実施した。</p> <p>各事務所では事業説明会、意見交換会等を実施した。平成25年度の代表事例を以下に示す。</p> <p>淀川河川事務所管内では、平成25年台風18号出水を受けて桂川の緊急治水対策における事業説明会等を実施した。</p> <p>琵琶湖河川事務所では、住民主催イベントと協働で、琵琶湖・瀬田川の説明や、瀬田川洗堰操作室見学会などの事務所事業の説明を行った。</p> <p>木津川上流河川事務所管内では、服部川右岸引堤に関する事業説明会、遊水地事業の説明を行う遊水地連絡協議会、高岩井堰魚道改良に向けた意見交換会を実施した。</p> <p>猪名川河川事務所管内では、工事実施に向け地元工事説明会及び漁業協同組合意見交換会を実施した。</p> <p>淀川ダム統合管理事務所管内では、平成22年度から天ヶ瀬ダムにおける低周波音調査を実施し、その結果及び専門家の見解について説明を行っている。また、住民協働における意見交換会を、宇治観光ボランティアガイドクラブと2回(8・10月)、フォレスターうじと1回(10月)、大石地区自治会・PTA等と2回(6・3月)実施した。</p> <p>一庫ダムでは、猪名川流域水道事業管理者連絡協議会や猪名川水質協議会等の場においてダム管理の概要を説明するとともに、一庫ダム河川環境復元に向けての取り組みに関する意見交換会(5月)を実施した。また、府県や市町など17機関の視察を受け入れ、一庫ダムの役割や管理の実態について説明を実施した。</p> <p>日吉ダムでは、一般住民や関係機関への説明会を実施した。またダム下流域の市議会議員の視察及び研修を受け入れ、日吉ダムの役割や管理の実態について理解を深めてもらう取組を実施した。</p>	<p>住民、住民団体との意思疎通の場は平成24年度は68回、平成25年度は93回と増加してきている。</p> <p>今後も、住民等の意見を聞きながら意見聴取の手法の開発に取り組む。</p>



日常からの川と人のつながりの構築

【観点】小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備状況

「指標」小径(散策路)の整備内容・延長(利用と指標が重複)

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果																								
<p>(平成25年度 of 取組)</p> <p>平成25年度は小径(散策路)を1.4km整備した。全体計画285.9kmのうち、平成25年度末までに198.2km(整備率69%)が整備済みであり、残区間は87.7kmとなった。</p> <div data-bbox="309 619 987 1150"> <table border="1"> <caption>小径の整備率</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>残延長 (km)</th> <th>H25整備延長 (km)</th> <th>～H24整備延長 (km)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>淀川</td> <td>59.8</td> <td>0.2</td> <td>136.6</td> </tr> <tr> <td>琵琶湖</td> <td>7.1</td> <td>0.0</td> <td>24.3</td> </tr> <tr> <td>木津上</td> <td>15.4</td> <td>1.2</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>猪名川</td> <td>5.4</td> <td>0.0</td> <td>32.7</td> </tr> <tr> <td>水系全体</td> <td>87.7</td> <td>1.4</td> <td>196.8</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>点検項目「憩い、安らげる河川の整備」の[指標]小径(散策路)の整備内容・延長と重複掲載</p>	地域	残延長 (km)	H25整備延長 (km)	～H24整備延長 (km)	淀川	59.8	0.2	136.6	琵琶湖	7.1	0.0	24.3	木津上	15.4	1.2	3.2	猪名川	5.4	0.0	32.7	水系全体	87.7	1.4	196.8	<p>今後も、各整備箇所の特徴を考慮した整備内容を検討し、推進を図り、川とまち・地域間の水辺のネットワークの形成に努めるとともに、琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会において、関係機関と広域的な水辺の散策路ネットワークについても調整を図り、利用者の視点に立った活用促進方策について検討していく。</p>
地域	残延長 (km)	H25整備延長 (km)	～H24整備延長 (km)																						
淀川	59.8	0.2	136.6																						
琵琶湖	7.1	0.0	24.3																						
木津上	15.4	1.2	3.2																						
猪名川	5.4	0.0	32.7																						
水系全体	87.7	1.4	196.8																						

日常からの川と人のつながりの構築

【観点】憩い、安らげる河川を目指した河川事業の実施状況

「指標」バリアフリー化の内容・実施箇所数(利用と指標が重複)

河川を安心して利用できる整備内容・箇所数(利用と指標が重複)

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果																																
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度はトイレ及びスロープの更新はなかった。ただし、平成25年9月出水等により、トイレ10箇所が破損等で使用できなくなっており、平成26年度以降順次更新・修理を予定している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="116 751 598 1110"> <p>トイレの設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>トイレの設置数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H19</td><td>95</td></tr> <tr><td>H20</td><td>98</td></tr> <tr><td>H21</td><td>95</td></tr> <tr><td>H22</td><td>95</td></tr> <tr><td>H23</td><td>95</td></tr> <tr><td>H24</td><td>95</td></tr> <tr><td>H25</td><td>85</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="645 751 1126 1110"> <p>スロープの設置数(累計)</p> <table border="1"> <caption>スロープの設置数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>設置数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>~H19</td><td>13</td></tr> <tr><td>H20</td><td>15</td></tr> <tr><td>H21</td><td>15</td></tr> <tr><td>H22</td><td>15</td></tr> <tr><td>H23</td><td>15</td></tr> <tr><td>H24</td><td>18</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>点検項目「憩い、安らげる河川の整備」の[指標]バリアフリー化の内容・実施箇所数と重複掲載</p>	年度	設置数	H19	95	H20	98	H21	95	H22	95	H23	95	H24	95	H25	85	年度	設置数	~H19	13	H20	15	H21	15	H22	15	H23	15	H24	18	H25	18	<p>河川内で子どもや高齢者でも安心して利用でき、多くの人が気軽に集うことができる場となるよう、トイレを92箇所、スロープを18箇所設置していたが、利用者からトイレについては「臭い、汚い」との意見が多いため、平成22年度以降は昭和56年度以降に設置されたスチール製トイレを簡易水洗式のFRP製トイレに更新している。また、平成25年9月出水等により、使用できなくなったトイレについては順次更新・修理していくこととしている。</p> <p>今後も安心して、気軽に利用できる場として整備を進めるとともに、施設整備にあたってはバリアフリー化を進める。</p>
年度	設置数																																
H19	95																																
H20	98																																
H21	95																																
H22	95																																
H23	95																																
H24	95																																
H25	85																																
年度	設置数																																
~H19	13																																
H20	15																																
H21	15																																
H22	15																																
H23	15																																
H24	18																																
H25	18																																

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

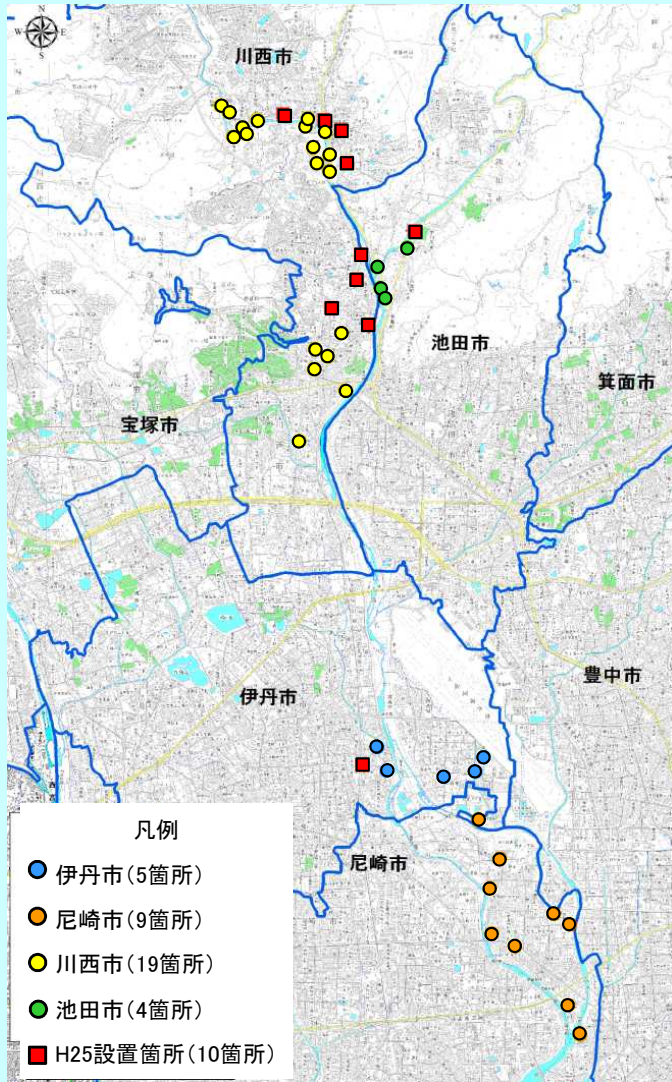
【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数(治水と指標が重複)

【まるごとまちごとハザードマップ推進事例】

【猪名川河川事務所】

まるごとまちごとハザードマップ設置位置図



まるごとまちごとハザードマップ
設置数

	全数	平成25年度
尼崎市	9	0
伊丹市	6	1
川西市	27	8
宝塚市	0	0
猪名川町	0	0
豊中市	0	0
箕面市	0	0
池田市	5	1
豊能町	0	0
能勢町	0	0
計	47	10

川西市での設置事例



洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数(治水と指標が重複)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の実績)</p> <p>平成25年度は、城陽市で5箇所、伊賀市で1箇所、伊丹市で1箇所、池田市で1箇所、川西市で8箇所のまるごとまちごとハザードマップを設置した。平成25年度末時点の整備済箇所は以下のとおりである。</p> <p>浸水想定区域表示看板(26箇所) (大阪市、京都市、草津市(試行)等)</p> <p>まるごとまちごとハザードマップ(157箇所) (八幡市(4)、宇治市(70)、大山崎町(4)、長岡京市(6)、向日市(9)、久御山町(9)、摂津市(2)、城陽市(5)、伊賀市(1)、尼崎市(9)、伊丹市(6)、池田市(5)、川西市(27))</p> <p>点検項目「危機管理体制の構築」の[指標]まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数と重複掲載</p>	<p>万一の堤防決壊に備え、避難誘導と危機意識の醸成に資するため、まるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置が進んでいる。</p> <p>今後も関係自治体と連携してさらにまるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置を進めていく必要がある。</p>

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

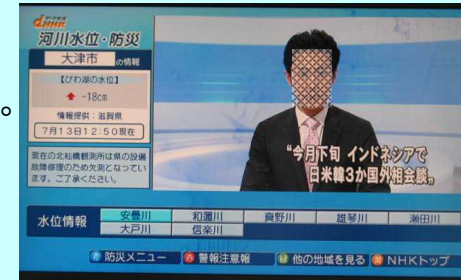
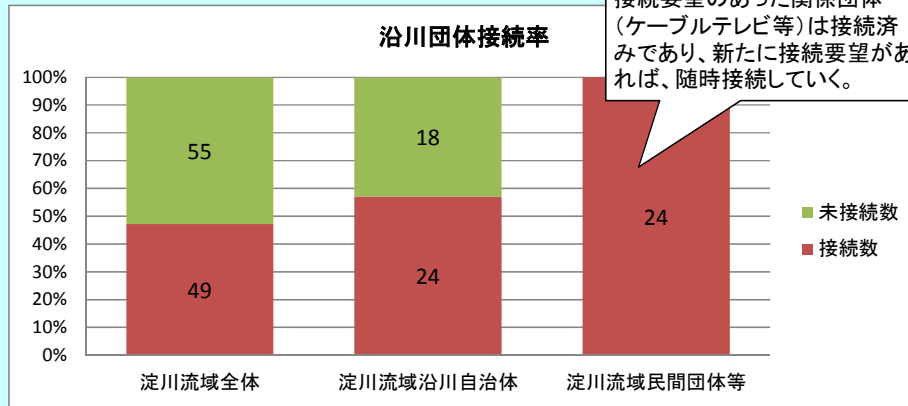
「指標」自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・団体数(治水と指標が重複)

【情報伝達体制状況】

【水系全体】

淀川・琵琶湖・猪名川・木津川上流の4事務所では光ファイバー等による情報提供を49団体と行っている。また、主要な雨量・水位情報やライブ映像はインターネットによる提供も行っている。

有事の際、各自治体等への確実な情報伝達体制確立のため、光ファイバー等の接続による直接の情報伝達について、水害に強い地域づくり協議会等で呼びかけている。



NHK情報提供画面(各河川水位データ表示)

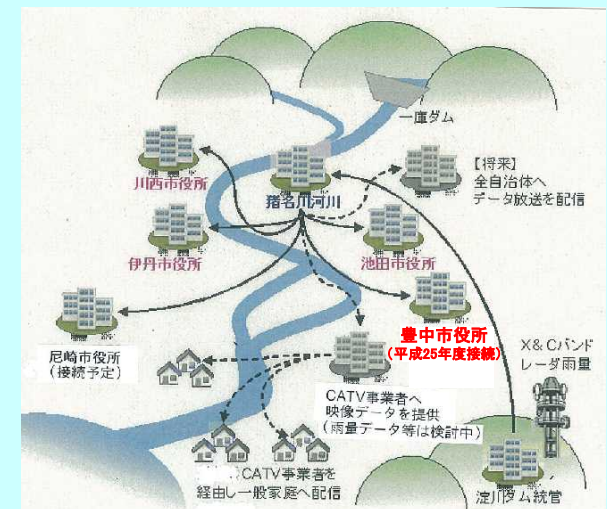
【光ファイバーを利用した地域情報ネットワーク】

【猪名川河川事務所】

関係機関へ光ファイバー等を接続することにより、河川情報や画像情報を確実に提供できるようにしており、猪名川河川事務所では、自治体(池田市・川西市・伊丹市・豊中市)、豊中・池田ケーブルテレビ及びベイ・コミュニケーションズと情報共有に関する協定を結んでいる。今後、尼崎市と情報共有に関する協定を計画している。



活用状況(川西市)



洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・団体数(治水と指標が重複)

進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の実績)</p> <p>平成25年度は、新規に1団体へ情報提供を始めた。 平成25年度までの累計では、49団体と増加している。</p> <div data-bbox="268 486 728 837" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>情報提供団体数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~H19</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>また、平常時から危機管理能力の向上を図るため、堤防の決壊を想定したシミュレーション訓練、総合防災演習及び陸閘の操作訓練を自治体や水防団と連携して実施した。</p> <p>自治体や水防団と水防連絡会を開催し、沿川の危険箇所や災害時の連絡体制等について情報交換を行った。</p> <p>点検項目「洪水・災害時の人と川とのつながりの構築」の[指標]自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数と重複掲載</p>	年度	団体数	~H19	34	H20	43	H21	44	H22	45	H23	47	H24	48	H25	49	<p>関係機関へ光ファイバー等を接続することにより、河川情報や画像情報を確実に提供でき、情報提供している団体数も増加している。</p> <p>また、訓練や連絡会を通じて、関係機関との連携が図られている。</p> <p>今後も関係自治体等と連携してさらに避難体制の基盤整備の支援や情報共有の促進及び関係機関との連携に取り組んでいく。</p>
年度	団体数																
~H19	34																
H20	43																
H21	44																
H22	45																
H23	47																
H24	48																
H25	49																

洪水・災害時の人と川とのつながりの構築

【観点】関係機関との連携状況

「指標」協議会等の設置状況(治水と指標が重複)

【協議会の設置状況】

【猪名川河川事務所】

・猪名川流域総合治水対策協議会

平成25年11月6日に猪名川流域総合治水対策協議会・幹事会を開催し、平成26年度の事業計画について承認された。これに基づき、平成26年度はまるごとまちごとハザードマップの設置箇所の選定を行っている。

猪名川流域総合治水対策協議会

<http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/busi/information/flood-about.html>



進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所管内においては、平成25年度は、首長会議2回、ワーキンググループ6回、地域住民・自治体職員の防災意識向上を目的とした講演会・研修会を5回実施し、水害に対する備えについて情報提供をおこなった。 ・琵琶湖河川事務所管内においては、平成25年度は、高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会を1回開催した。 ・猪名川河川事務所管内においては、平成25年度は、流域の都市化に伴い治水の安全度が低下している猪名川流域において、土地の適正な利用計画等、総合的な治水対策のための諸施策を協議のうえ策定し、かつその施策を推進することにより水害を防止し、また軽減を図ることを目的とした、猪名川流域総合治水対策協議会・幹事会を1回開催した。 ・木津川上流河川事務所管内においては、平成25年度は木津川流域での協議会発足に向けて調整を行っており、三重県、伊賀市、木津川上流河川事務所の3者で準備に向けた打合せを平成26年2月21日に実施した。 <p>点検項目「危機管理体制の構築」の[指標]水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数と重複掲載</p>	<p>各事務所管内において、水害に強い地域づくり協議会の設立が進んでおり関係機関との連携が進められている。</p> <p>今後も、定期的に各協議会を開催することにより、関係自治体との連携を強化していく。</p> <p>なお、協議会が未設置の地域では、早期設置を図る。</p>

上下流の連携の構築

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地ビジョン策定とその後の活動内容・回数(利用と指標が重複)

【一庫ダム管理所における活動状況(流木ペインティング)】

一庫ダムでは、ダム湖に流入した流木を利用して「美しい猪名川 流木ペインティング大会」を実施し、廃棄物の有効活用やゴミ減量への意識向上に役立てた。



美しい猪名川 流木ペインティング大会(43名参加)

上下流の連携の構築

【観点】水源地域ビジョンの推進状況

「指標」水源地ビジョン策定とその後の活動内容・回数(利用と指標が重複)

進捗状況	点検結果																																				
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、水源地域ビジョンの取り組みとして、貯水池周辺清掃に約1,000人(16回開催)、施設見学会に約4万1千人、ホテル鑑賞会に5人が参加している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="125 453 645 845"> <table border="1"> <caption>貯水池周辺清掃</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>12回</th> <th>25回</th> <th>21回</th> <th>19回</th> <th>16回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数(人)</td> <td>1300</td> <td>800</td> <td>850</td> <td>800</td> <td>950</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="696 453 1216 845"> <table border="1"> <caption>施設見学</caption> <thead> <tr> <th>参加人数(人)</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数(人)</td> <td>60000</td> <td>70000</td> <td>50000</td> <td>45000</td> <td>40000</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1267 453 1742 845"> <table border="1"> <caption>ホテル鑑賞会</caption> <thead> <tr> <th>開催回数</th> <th>2回</th> <th>1回</th> <th>1回</th> <th>1回</th> <th>1回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数(人)</td> <td>140</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>また、平成25年度の個別の取組としては、以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 天ヶ瀬ダムでは、宇治観光ボランティアガイドクラブとともに、天ヶ瀬ダムを広く国民に知っていただき、あわせて、天ヶ瀬ダムを観光資源として活用していただくことを目的とした協働事業における施設見学を実施した。 淀川水系のダム水源地が広域的に連携して、ダムや水源地への理解を深め、関心を高揚させるための情報発信並びに水源地の地域振興等を図ることを目的として、青蓮寺ダム管理所及び、比奈知ダム管理所において現場視察と意見交換会を実施した。 水源地に対する理解を深めて頂くため、淀川資料館に展示ブースを設置し、淀川水系各ダム及び水源地域の各市町村のパネル展示、パンフレット配布等を実施した。 日吉ダムにおいて、水源地域ビジョン連絡会の連携活動の取り組みとして、集中取組期間(9月～11月)を設けて関係機関によるダム周辺地域の清掃活動を実施した。 木津川ダム群において、水源地域ビジョンの実行連絡会を4回開催し、関係自治体、機関等が平成24年度の実施報告並びに平成25年度の計画報告を行った。 また、各ダムにおいて施設見学会を実施した。 一庫ダムにおいて、水源地域ビジョン推進協議会による廃棄物の有効活用やゴミの減量への意識を高める事を目的に、ダム湖に流入した流木を利用した「美しい猪名川 流木ペインティング大会」を実施。(8月) <p>点検項目「水源地域の活性化」の[指標]水源地域ビジョン策定とその後の活動内容・回数と重複掲載</p>	開催回数	12回	25回	21回	19回	16回	参加人数(人)	1300	800	850	800	950	参加人数(人)	H21	H22	H23	H24	H25	参加人数(人)	60000	70000	50000	45000	40000	開催回数	2回	1回	1回	1回	1回	参加人数(人)	140	50	50	150	5	<p>水源地域ビジョンを策定し連絡会等により各施策が実施され、各行事には多数の参加者が訪れている。</p> <p>また、ダム周辺では施設整備が進められ利用者の利便性が向上するとともに、湖面利用の促進に取り組んでいる。</p> <p>今後も関係機関と連携しダム施設見学会、ダム湖周辺におけるマラソン大会、水源地域の植林活動、間伐材の利用促進、水質保全対策の実施や不法投棄対策の実施など水源地域ビジョンの取り組みを継続的に推進する。</p> <p>また、ダム周辺施設の整備や湖面利用促進策を進めていく。</p>
開催回数	12回	25回	21回	19回	16回																																
参加人数(人)	1300	800	850	800	950																																
参加人数(人)	H21	H22	H23	H24	H25																																
参加人数(人)	60000	70000	50000	45000	40000																																
開催回数	2回	1回	1回	1回	1回																																
参加人数(人)	140	50	50	150	5																																